

全学年 男女共習体育実施の中での 自然な雰囲気

昨年度までの体育は男女別習で行っていましたが、それが当たり前で、誰も何も言いませんでした。

しかし、学習指導要領解説には、「原則として男女共習で学習を行うことが求められている」と示されています。さらに、体育における男女共習の意義は、体力や技能の程度及び性別の違いや障害の有無等にかかわらず、仲間とともに学ぶ体験や運動の多様な楽しみを共有することは、生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現に向けた重要な学習の機会であるといった点にある、と記されています。

この主旨を踏まえ、今年度から本校では、1年生は全種目において、2・3年生については、スムーズに行える種目を優先しながら導入していくこととしました。

4月当初は、全学年とも『集団行動』の授業から行っていました。整った動きとともに、勢いのある声が響いており、男女共習で行っていることの違和感や不自然さを全く感じない程、一体感のある授業でした。

取組途中には、学校運営協議会委員の方々による授業参観の機会もありましたが、委員の方々が、「久しぶりに勢いのある体育の授業を見た。」「もっと見ていたいと思った。」といった感想が寄せられました。

これからは、雨天・暑さ等、考慮すべきものが増えてきますが、男女共習の良さ・効果を探りながら取り組んでいきます。

